

02 | 観光・経済活性化

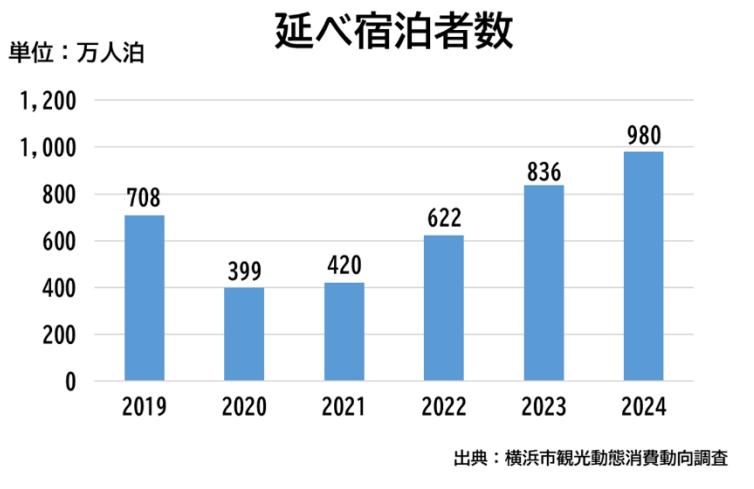
セキュラーエコノミーやAI・半導体等、最先端技術の進展などの世界潮流を見据えると共に、世界に誇れる水際線や三溪園をはじめとした、観光都市・横浜を代表する資源を生かして、横浜市の観光・経済における強み・ポテンシャルを最大化すると共に、未来に向けた産業創出に取り組み、経済の持続的な成長・発展につなげます。

さらに、積極的に海外活力の取り込み、横浜ブランドの海外への発信を進め、国内外から人や企業が集まる、グローバル都市横浜を目指します。

現状及び将来見通し

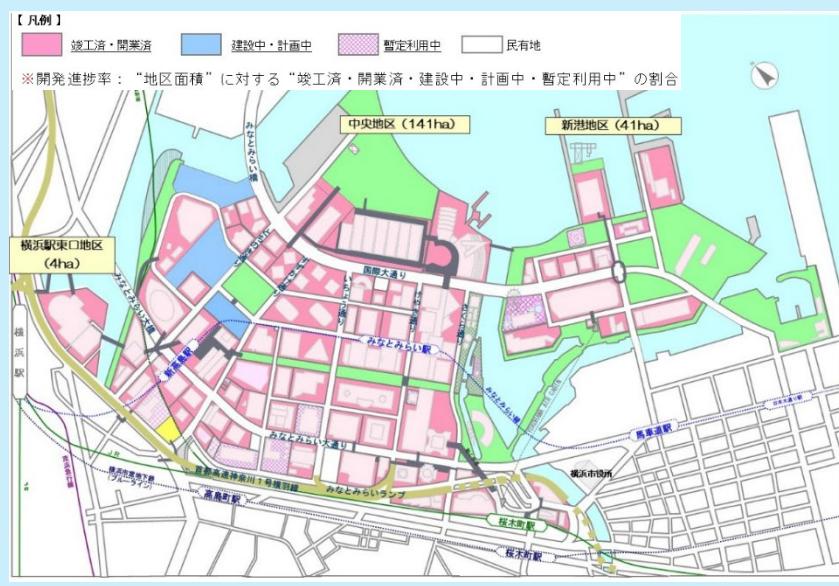
観光都市に向けて

- 海や港などの開放的な環境に加え、商業施設や「楽しみながら学べる」集客施設の集積、また公民が一体となったイベント戦略等により、観光消費額、観光入込客数は2024（令和6）年に過去最高を達成しました。
- 今後は、平均立寄り箇所数の更なる増加や、延べ宿泊者数のインバウンド割合の上昇に向けて、回遊の促進や、商業・宿泊施設等の受入れ環境の充実、また情報発信の強化が重要です。
- 更に、観光政策を「来訪者数の増加」で終わらせず、都市としての価値の向上や、市内経済の成長につなげていくことが重要です。



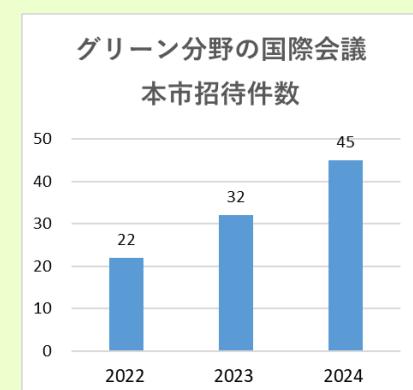
産業の持続的な成長

- 企業集積を支えてきたみなとみらい地区は98.6%まで開発が進み、今後は市内各エリアでの企業誘致が重要です。特に既存の産業用地は高度経済成長期のインフラや法令規制により柔軟な土地利用転換が難しく、まちづくりと一体となった産業集積や魅力的な就業環境の形成が課題です。
- 生成AIの急速な普及や循環型社会移行への要請など、市内経済を取り巻く情勢変化は激しく、個別企業だけでの対応は困難です。横浜市が世界の潮流を捉え、国の成長戦略とも連動させながら、マッチングや投資インセンティブを通じて企業の変革を後押しし、横浜ならではのイノベーション創出を促進することが重要です。



グローバル都市横浜

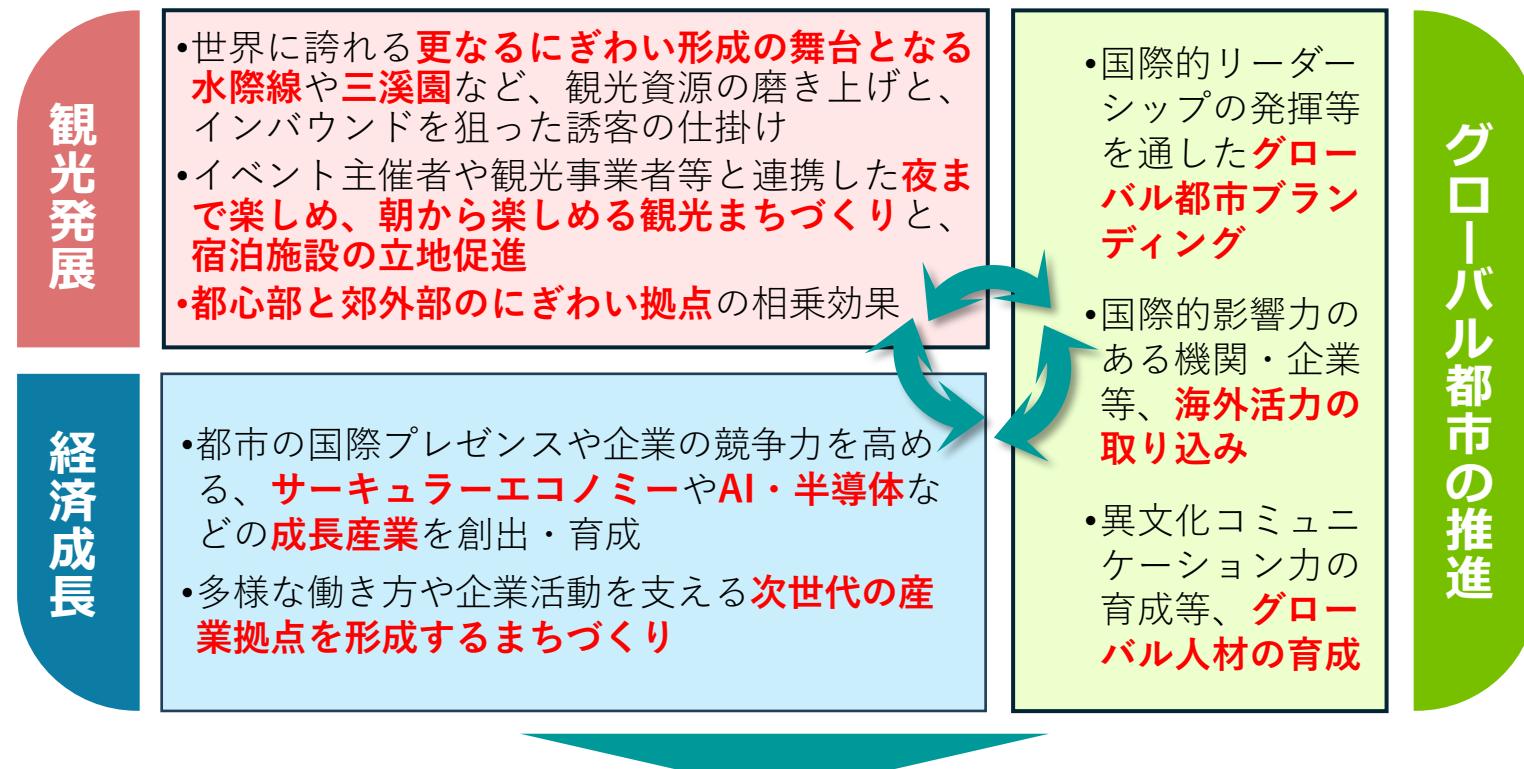
- 横浜の魅力として「国際的な雰囲気がある」と考える市民の割合は24%(2024年)。「市民が世界に誇れる都市」を目指す上で、都市の魅力を更に高め、発信していくことが重要です。
- 国際会議等の場で発信してきたグリーン分野の取組について国際機関等から評価が高まる中、国際的なリーダーシップを一層發揮してプレゼンス向上を図る好機です。
- 人口減少社会においては、海外活力の取り込みも重要です。企業・人材等から選ばれるため、グローバルネットワークの拡大や効果的な海外プロモーションが課題です。



方向性

観光の発展は、横浜市の経済成長に資する取組であり、また国内に加えて海外からの誘客が重要な要素です。さらに、サーキュラーエコノミーなどを通じた環境共生と経済成長の両立への挑戦は、グローバルな都市課題の解決につながり、横浜の国際的リーダーシップを発揮する取組です。

このように、「観光発展」「経済成長」「グローバル都市の推進」は一体的に取り組むことが重要であり、3つの取組の連動を通じて、都市の魅力・活力と国際プレゼンスの向上を図ります。



[観光発展] + [経済成長] + [グローバル都市の推進]
3つの取組を連動して進め、市民が世界に誇れる都市へ

2029（令和11）年の横浜の姿（観光・経済）

◆取組全体

- 水際線や三溪園をはじめとした横浜の魅力ある都市資産を生かした更なる観光の発展や、世界潮流や国の成長戦略も踏まえたサーキュラーエコノミーやAI・半導体分野などの産業の育成が進んでいます。
- そうした都市の魅力が国際的にも認知されると共に、若者をはじめとした横浜市民が、世界をより身近に感じ、世界とつながり、「市民が世界に誇れる都市」となっています。

◆個別取組（施策群の指標：抜粋）

・観光消費額	【現状】4,564億円 → 5,500億円
・観光入込客数	【現状】3,773万人 → 4,000万人
・延べ宿泊者数	【現状】980万人泊 → 1,100万人泊
・新規産業投資件数 (サーキュラーエコノミー・AI関連)	【現状】4件 → 24件

2040（令和22）年の横浜の姿（観光・経済）

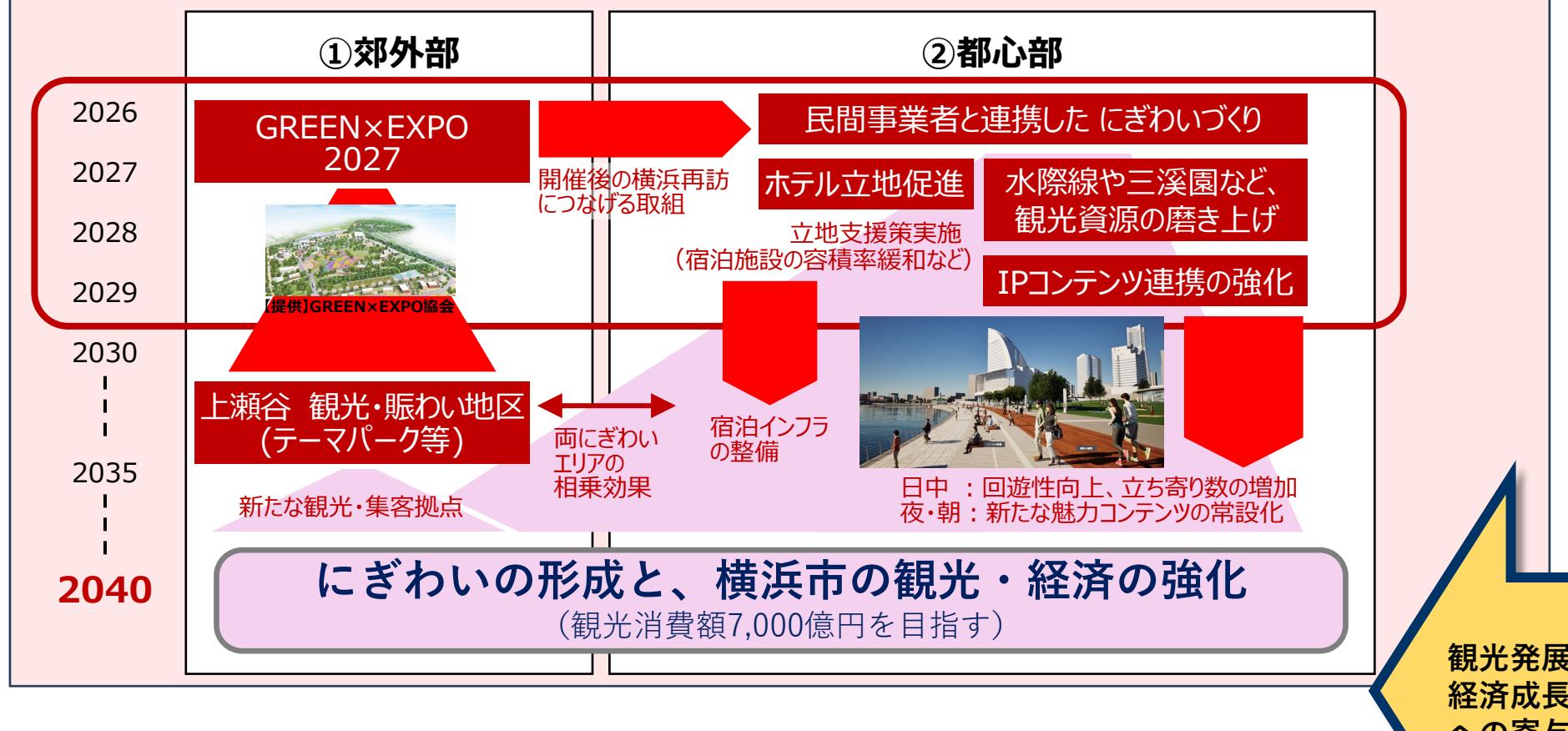
[観光]の視点 都心部でも郊外部でも、多くの市民や国内外の来街者を惹きつける拠点を形成し、更なるにぎわいが生まれています。
(観光消費額7,000億円)
※2024（令和6）年約4,564億円

[経済]の視点 サーキュラーエコノミーやAI・半導体関連産業が横浜の新たな成長産業の一つとなり、人口減少時代においても市域全体が経済成長を続けています。
(市内総生産額の向上)
※ 2022（令和4）年度推計約14.8兆円

[グローバル]の視点 世界目線の政策を実行するグローバル都市としての世界的認知を獲得しています。

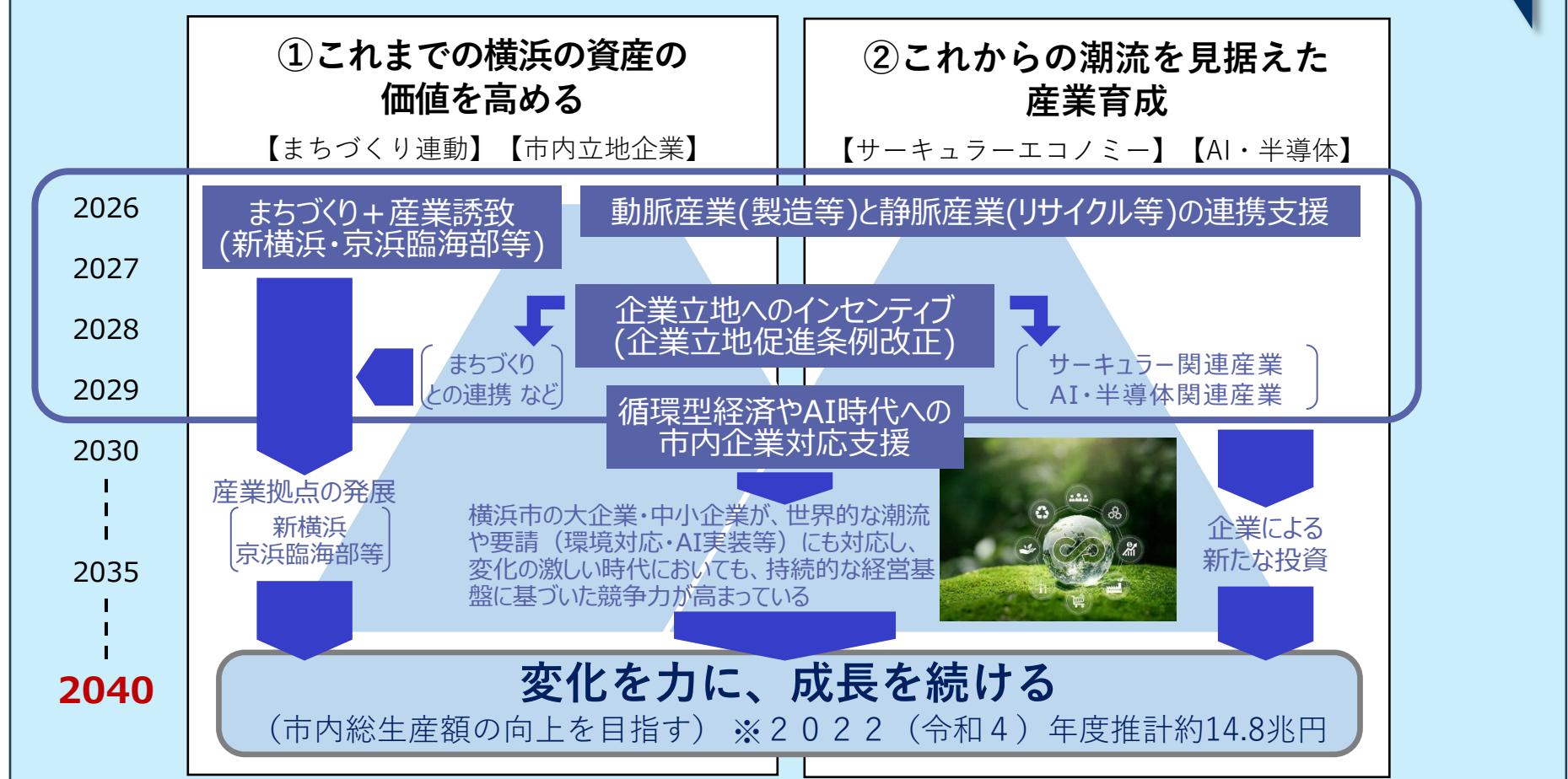
観光発展～更なるにぎわいの形成から、横浜経済の成長へ～

GREEN×EXPO 2027の開催を契機として、国内外における観光都市としてのプレゼンス向上のため、都心部の魅力の磨き上げや受入れ環境の整備を進めると共に、戦略的なプロモーションにより、市内や国内に加え、インバウンドを含めた誘客につなげます。また、郊外部の新たな観光・集客拠点の形成を見据え、両エリアの相乗効果を図る施策により、更なるにぎわいを形成し、市内経済の活性化につなげていきます。



経済成長～持続可能な地域経済の発展～

世界共通の課題解決に資するサービス等の提供を通じて、更なる経済の成長を目指す国の成長戦略と共に、これからの中長期潮流を見据えた産業育成を進め、横浜市の持続的な経済成長につなげていきます。



グローバル都市の推進に向けた戦略※～市民が世界に誇れる都市へ～

グローバル化や少子高齢化が進展する中、国際平和に貢献しながら都市の持続可能性を高めるため、あらゆる政策を世界目線で捉え直し、横浜のブランド力や活力の向上につなげます。

アジアでの循環型都市を先導するなど、国際的なリーダーシップを発揮することで、国際プレゼンスの向上、グローバル人材の育成、海外活力の取り込みなど好循環を生み出し、シビックプライドの醸成につなげていきます。

※ この戦略を、「横浜市国際戦略（令和3年2月改定）」を継ぐものとして位置づけます。

グローバル都市ブランディング

海外への戦略的プロモーション

これまで取り組んできた国際協力、都市間連携やグリーン分野の施策に加え、横浜の持つあらゆる強みを戦略的に海外へプロモーションし、国際的な評価の獲得につなげます。

グローバル
都市として
の成長

国際的な評価の獲得・ グローバルリーダーシップの発揮

国際プレゼンスの向上



横浜が発起都市となり創設されたアジア版「循環型都市宣言制度」
(アジア・スマートシティ会議2025)

海外活力の取り込み

国際的な機関や企業、 教育研究機関等の 誘致・パートナーシップ

横浜の活力を高めるため、国際的に影響力のある機関やグローバル企業、教育研究機関の誘致や新たなパートナーシップ締結を目指すと共に、市内企業の競争力の強化、インバウンド誘客や外国人材等の受け入れ環境整備等を進めます。

グローバル人材育成

異文化コミュニケーション力の育成 世界をめざす若者の応援

全ての子どもが、多様な他者と英語でコミュニケーションをとる可能性を広げると共に、横浜市のネットワークを生かした交流等を通して、グローバル社会で活躍できる人材を育みます。

さらに、留学など世界を目指す若者を応援します。

世界での認知度が高まり 選ばれる都市になる

横浜市の活力が高まり、
都市の持続可能性が高まる

世界をより身近に感じ 世界とつながる

市民一人ひとりのライフステージにおける選択肢や可能性が広がる